

労災ケア通信

第95号

2026年5月25日

発行：一般財団法人
労災サポートセンター

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル10F

TEL 03-6834-2510(代表)

FAX 03-6834-2530

ホームページアドレス

<https://www.rousaic.or.jp>

ケアプラザだより

ケアプラザ岩見沢

「防災訓練の実施について」

総務課長

ケアプラザ岩見沢では、令和8年3月に防災訓練を行いました。

前半は、最も人手が少なくなる夜間帯の起火を想定した避難訓練でした。

夜勤職員4名と警備・設備員2名という限られた人数で、初期消火から避難誘導、外部への通報までの一連の流れを確認しました。

そして、職員宿舎への緊急招集訓練も実施し、宿舎に入居している施設長や介護課長が実際に駆けつけました。

こうした訓練は、夜間に災害が起きた場合、少人数での対応がいかに困難であるか、身をもって実感する

貴重な機会となりました。

後半は岩見沢消防署の方を講師に招き、救急救命訓練を行いました。職員たちは、真剣な面持ちで心肺蘇生やAEDの操作法を学びました。

今回の訓練で浮き彫りになった課題を、今後の防災体制に反映させ、職員一人ひとりの危機管理意識を高めるとともに、より安心できる施設づくりに努めていきたいと考えております。



夜間を想定した避難訓練の様子

「熱々鍋焼きうどん」

総務課

ケアプラザ岩見沢の献立自慢の一つに「鍋焼きうどん」があります。

毎週木曜の昼食は『麺の日』として定着していて、その中でも、特に北海道で寒さの厳しい11月から3月までの間は、月1回、必ず「鍋焼きうどん」が登場します。

食堂では、厨房コンロから熱々に煮込んだ鍋焼きうどんが提供されます。グツグツと煮たっている状態で職員が席まで運ぶため、とても注意が必要ですが、楽しみにしている入居者の方々も多く、皆様、やけどをしないように気をつけながら、上手に召し上がります。

4月からしばらくお休みとなりますが、季節限定の特別感と、食事を通して季節の移り変わりが楽しめる



グツグツと音をたて、厨房から出てくる鍋焼きうどん

一品を、これからも皆様に提供していきたいと思えます。

ケアプラザ富谷

「大人気行事、カラオケ茶話会」

総務課

4月8日(水)今年度初めての行事、カラオケ茶話会を開催しました。

この行事は毎年数回行われ、入居者の方々にとって大人気の行事です。今回も多くの方々に参加していただき、曲に合わせて手拍子や歌声が広がり、会場は和やかな雰囲気になりました。

久しぶりにマイクを手にした方も歌い終えると大きな拍手に笑顔でこたえ、会場ではお茶やお菓子を囲みながら会話も弾み楽しいひと時とな



カラオケ映像の鑑賞も楽しみ！



優しい声で熱唱する入居者の方

りました。
 今後も皆様に喜んでいただけるよ
 うな笑顔溢れる行事を企画してい
 きたいと思えます。

「介護ICT（情報通信技術）
 導入・運用について」

介護課 阿部 望美

私達の施設では、業務の効率化と
 安心、安全な介護の実現を目指し、
 昨秋に「介護ICT（情報通信技
 術）」を導入し、今年3月から運用を
 開始しました。

新たな取組みのインカムや見守り
 システムを活用し、職員同士の連携
 がより円滑になるよう努め、情報の
 迅速な把握と共有がしやすくなるこ
 とで、転倒などの介護事故防止など、
 入居者の皆様が安心して過ごしてい
 ただける環境づくりにつながればと



センサーで感知した入居者の方の状況を
 モニターで確認する職員

考えています。
 また、導入にあたり「ICT導入
 ・定着メンバー」を立ち上げ、事前
 準備を進めてきました。

今後もメンバーを中心に課題に取
 組み、職員の声に耳を傾けながら活
 用しやすい環境づくりを目指します。
 ICTを日々の介護に根付かせ、工
 夫を重ねながら、より良い支援へつ
 なげていきたいと思えます。

ケアプラザ四街道

「雨のお花見カフェ」

総務課

施設行事として「お花見カフェ」
 を3月25日（水）に実施しました。

3月も中旬を迎えるころには、入
 居者の方々も職員も施設内の桜の開

花状況と天気予報が気になって仕方
 ありませんでした。

迎えた行事当日、桜は「二〜三分
 咲き程度」、天気は「雨」というダブ
 ルパンチ。

会場を屋外の駐車場から施設2階
 の「コミュニケーションホール」に急遽変更し、
 各職員が知恵を出し合い大慌てで机
 や椅子のレイアウトを決めていきま
 した。

「三人寄れば文殊の知恵」。慌てて
 組み立てた会場とは思えないほど入
 居者の方々も職員も動きやすい会場
 が出来上がりました。

今年のお花見は、「桜」ではなく「雨
 雲」を眺めながらではありましたが、
 入居者の方々は、コーヒーやジュー
 スさらには甘酒を何杯もお代わりし
 ながら楽しくお話をされ、笑顔の花
 が満開となりました。



お花見カフェでほっと一息

「また来たい！園児の笑顔」

総務課

桜が満開の4月6日（月）、近隣の
 「まちの保育園成山」の園児の皆さん
 15名と先生3名が当施設に遊びに
 来ていただきました。

桜の花びらが舞い散る中、園児の
 皆さんは施設の敷地内の広い庭を駆
 け回り思いっきり楽しんでいました。

先生方は、中庭のチューリップや
 桜の木の前で子供たちの記念撮影を
 していましたが、元気に動き回る子
 供たちを集めての撮影は時間がわか
 り大変な様子でした。

入居者の方々は、子供たちが駆け
 回ったり遊んだりしている姿を、庭
 に出てこられたり、窓から眺めたり
 して楽しんでいました。

お別れのときには、男の子が「ま
 た来たい！」と大きな声で叫びなが



チューリップの前で笑顔の記念撮影

ら帰っていききました。

「お気持ちに寄り添うサポートを」

木村弘子

初めまして、このたび、千葉労災特別介護施設の介護課長として着任いたしました、木村弘子と申します。昨年度まで看護学校に勤務しておりましたが、ご縁がありこちらの施設にまいりました。

介護施設での勤務は今回が初めてです。

入居者の皆さまが「自分らしく」安心して暮らせるよう、日々の生活やお気持ちに寄り添いながらサポートしていききたいと思っています。また、ご家族の皆さまとのつながりも大切にし、笑顔があふれる温かな施設づくりを目指したいと考えております。職員みんなで力を合わせ、皆様の



木村課長

「笑顔あふれる温かな施設づくりを目指します。」

生活が少しでも楽しく、心地よいものになるよう努めてまいります。これからどうぞよろしく願っています。

ケアプラザ瀬戸

「提灯と甘酒で気分を盛り上げ」

総務課

ケアプラザ瀬戸では、毎年桜の開花を祝い、行事『お花見』を行います。飾り付けた提灯に、夜になると灯をともし幻想的な風景を楽しむことができます。

また、今年は温かい甘酒を提供し入居者の方々に味わっていただきました。

当初予定していたお花見の日は残念なことに雨で、予備日も雨となりました。

結局、花冷えの中、建物の中からお花見となりましたが、準備した甘酒は完売し、約40名の入居者の方々と楽しいひとときを過ごすことができました。

中には、からだを温めてくれる生姜のしぼり汁を入れた熱々の甘酒と冷たい甘酒の両方を味わい、違いを楽しむ入居者の方もいて、寒い中のお花見にも色々な楽しみ方があるようでした。



お花見と甘酒は相性がいいですね、ぜひおかわりを！

「来年は天候の良い日に甘酒をふるまってほしい」など良いご意見をいただきました。

「好評！行事を振り返る」

スライドショー

総務課

施設を訪問される方には、最初に事務所受付に立ち寄って頂きます。

このため、歓迎の意味もこめて、受付カウンターには入居者の方のご厚意で、大事に育てた花を飾らせていただき、皆さんを出迎えています。

また「いつでもお気軽にお立ち寄り下さい」といった気持ちを込め、ディスプレイを置いて写真のスライドショーを放映しています。

見て頂く写真は、様々な施設行事や昨年9月に開催された労災重度被

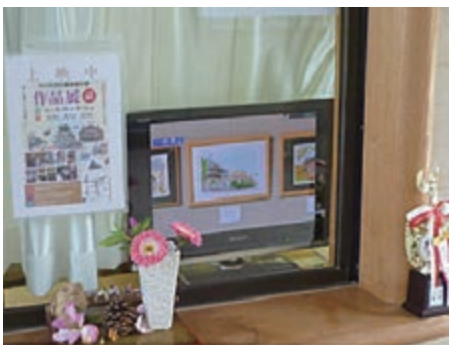
災者作品展の様です。

なかなかの好評で、来訪者の皆さんから「楽しそうなイベントをしているんですね！」と声をかけていただくことが増えました。

入居者の方々は「前回の行事がもう放映されている」と驚かれ、何人かと一緒にわざわざ立ち寄って頂く機会も増えました。その際には、事



丹精こめて育ててくださったお花が、歓迎に彩りを添えます。



事務所受付で、施設行事や作品展の様を紹介するスライドショー



待ちに待った桜に
思わず手をあわせる入居者の方

今年も淡い色の桜の花が少しずつ咲き始めました。しかし、桜の木々は年々害虫による被害で倒木の危険

「ありがとう！桜の花に感謝」

介護課

務職員と一緒にスライドショーを見ながら、来年のイベントをどのように改善したらよいかなどの意見交換をしています。
皆さんからの貴重な意見を伺える機会が増え、良かったと実感しています。
入居を検討されている方、ご家族の方、どうぞお気軽に事務所までお越しください。

ケアプラザ堺

があり、所々で伐採が行われていても残念です。

それでも元気に花を咲かせてくれて、今年も私達の心を和ませてくれました。毎年桜の鑑賞を楽しみにしている入居者の方々や職員たちは、桜を見ているだけで自然と笑みがこぼれ、つかの間の幸せを感じている様子でした。

お花見当日はあいにく雨が降っていたので、玄関の近くまでしか出る事ができませんでしたが、少しでもお花見気分を盛り上げようと、ささやかではありますが甘酒を提供させていただきました。

入居者の方々が、美味しいと笑顔で喜んでくださって、桜の花に癒されたひとときでした。

そんな幸せを届けてくれた桜の木に、今年も元気に咲いてくれてありがとうございますと感謝しています。

「手に取って選べる、楽しい移動販売」

介護課

先日、阪急移動販売が来訪しました。販売車の中には菓子類を中心とした食品が整然と並べられていて、入居者の方々はそれぞれ商品を手に取りながら楽しそうに、選んでいらっしやいました。

外出の機会が限られる中、自ら品



カラフルな商品が並ぶ移動販売、
ワクワクします！

物を選択する時間は日常生活の一部として意義あるものとなっているように感じられました。普段とは異なる環境の中で買い物を行うことで、気分転換にもつながっている様子が見受けられて、良かったと思います。

今後も継続的に実施できるように検討し生活支援の一環として取り組んでいきたいと考えています。

また、今後の実施頻度や内容についても検討を重ね、入居者の方々に充実した買い物時間を楽しんでもいただけるよう工夫を重ねていきます。



ケアプラザ呉

「ポッチャ大会」

介護課

3月4日(水)に恒例のポッチャ大会を開催しました。

11名の入居者の方々が参加され、「もう少し左かな」、「いいところに入った」など、それぞれが投げるボールの行方に一喜一憂しながら楽しむ姿が多く見られました。

今回、普段あまり体を動かすことがない入居者の方や、入居されて間もない方が初めて参加され、ボールを投げる動作を通じて、自然と体がほぐれていく様子が見られました。

対戦が進むにつれて、応援の声も大きくなり、会場は賑やかな声援に包まれました。



投げたボールの行方が気になります…

大会終了後には、「楽しかった」、「またやりたいね」といった入居者の方々の声も聞かれ、職員も嬉しくなりました。

会場に集まっている入居者の皆さんと職員にとって笑顔溢れるひと時となりました。

「お花見ドライブ」

介護課

4月8日(水)に、入居者7名、職員6名が施設のバスに乗り込み、30分程のところにある広公園へ行ってきました。

公園に到着すると、満開の桜が迎えてくれました。この日は近隣の学校で入学式が行われたようで、たくさんの子供達で賑わっていました。

入居者の方々は満開の桜を見て、「わあ」と大きな歓声をあげて、職員が「桜が綺麗ですね」と声をかけると大きく頷いていらっしゃいました。

普段、笑顔の少ない入居者の方も子供達が遊んでいる光景を見て、顔がほころび喜んでいらっしゃる様子でした。

お花見ドライブに参加された入居者の方々から、「きれい」、「気持ちがいいな」、「すげーな」などの声があちこちからあがり、明るい表情もたくさん見ることができ、心温まる時



満開の桜を背景に笑顔の記念撮影

間を過ごすことができました。

今年度は、施設の外に出かける行事を増やす計画をたてています。入居者の方々の気分転換や、施設での生活に潤いを感じていただき、安心して生活を送っていただけるよう、職員一同努めていきます。

ケアプラザ新居浜

「ケアプラザ新居浜に入居して」

入居者 竹中進一

私は高知県室戸市の出身で、20代の頃に仕事上の怪我で脊髄損傷となりました。

複数の病院で治療を終え自宅に戻った後は、仕事もしながらキャンピングカーで各地を巡り、キャンプや釣りを楽しみました。

数年前から年齢とともに自宅生活が厳しくなり、これまで支えてくれた家族にも無理をさせたくないという思いから、ケアマネジャーさんの勧めもあり、ケアプラザ新居浜への入居を検討し始めました。

いくつかの他の介護施設を回りましたが、ケアプラザ新居浜のショートステイを利用した際に、介護スタッフの方が私の障害をよく理解して介助してくださることに、車いすでも生活しやすい広々とした造りが気に入って入居を決めました。

令和7年12月に入居し、マイカーを持ち込み、入居してからも大好きなドライブを続けております。

これからも、ここケアプラザ新居浜で充実した毎日を過ごしていきたいと感じております。



観桜会で乾杯！(向かって右から2番目が竹中さん)

「心に刺さった、ひな祭りライブ」

総務課長

3月4日(水)、愛媛県内を中心に音楽活動をされているKazu & Yon様をお招きし、ひな祭りライブを開催しました。

ひな祭りの楽曲から始まり懐かしい思い出の曲など、入居者の方々の心に刺さる曲ばかりで、心に沁みる歌声とギターの音色に皆さん終始聴き惚れていらっしゃいました。

Kazu & Yon様には今回ボランティアでご出演いただきました。

ステージは30分という短い時間でしたが、一曲一曲が心に響き、忘れられないひとときとなりました。深い感謝の気持ちでいっぱいです。



ステージ上、向かって右がKazu(中田和代)様 左がYon(守屋義則)様

ケアプラザ宇土

「救命法に対する意識向上を」

総務課

3月11日（水）、宇城広域連合消防本部北消防署職員を講師に招き、職員を対象に、救命法講習会を開催しました。

始めに、市内での救急出動の件数や救急車の台数などの状況が伝えられ、救急車到着までに適切な応急処置を行うことの重要性について説明がありました。

続いて行われた実技では、倒れている人を発見した場合を想定し、反応の確認方法や声掛けのやり方、心肺蘇生を開始する判断基準などを学び、心肺蘇生法（胸骨圧迫）やAEDの使用方法について指導を受けました。

昨年11月22日（土）にも同じ講習会を開催していて、今回の講習会で



「救命フレンドシップ事業所」の認定証

令和7年度2回目の開催になったことから、令和6年度に続き「救命フレンドシップ事業所」の認定を受けることができました。

今後も継続的に講習会を開催し、職員一人ひとりの救命法に対する意識向上を図っていきたくと考えています。

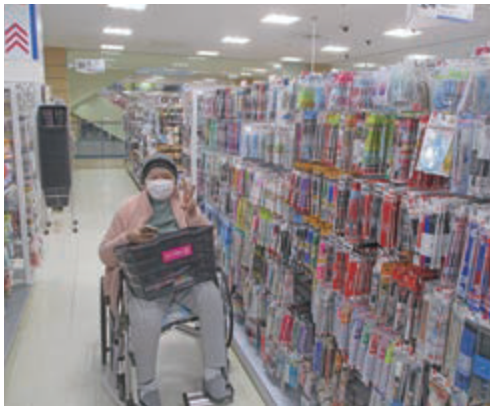
「楽しい買い物ツアー」

行事運営委員会

4月15日（水）、買い物ツアーを開催しました。

入居者の方々20名が参加され、施設近くのショッピングモールで買い物を楽しまれました。

当日は地元ボランティアの方々もお手伝いにかけてくださり、入居者の皆様は好きな売り場を見てま



色々な商品を見て回るのも楽しみ！

わたることができました。

そして、食品売り場、本屋、電気店や百円ショップ等でそれぞれお目当ての商品を選ばれ、施設内の売店には置いていない色々な品を購入さ

れていました。

普段外出する機会が少ない入居者の方々が多く、売り場をまわり好きな商品を探すショッピングは気分転換にもなり、大変喜ばれていました。

お知らせ

令和8年度の事業計画が決定されました

令和8年3月26日に開催された理事会において、令和8年度の事業計画が決定されました。計画のうち、ケアプラザ運営の重点事項についてお知らせします。

(1) 適切な介護サービスの提供

入居者の方々の意見や要望を踏まえた介護計画の目標の実現を目指す、入居者の方々の傷病・障害及び健康の状態に応じた介護計画をカンファレンスで検討、策定し、同意を得た上で、適切な介護サービスの提供に努めます。

(2) 入居者の方々の健康管理

入居者の方々は基礎疾患を有する方が多く、また特定疾病発症リスク等医療ニーズが高いことから、労災病院及び近隣医療機関の医師

等を医療コンサルタント医として委嘱して施設内で入居者の方々の健康管理や健康相談を行うほか、通院時には看護職員等が同行し、施設のマイクロバスで送迎するなど適切に対応します。

(3) 苦情等への対応

入居者の方々から苦情等の申し出があった場合には、「苦情解決委員会」等において、迅速かつ適切に対応し、速やかな解決・改善に努めます。

(2) その他の事項への取組み

その他、次の事項について取り組んでまいります。

- ① 研修等を通じた職員の人材開発の促進
- ② 介護に関する研究の実施
- ③ 防災への取組み